



学級通信

365日

令和3年3月19日
岐阜市立岐阜東幼稚園
たいよう組 No. 38 最終号

ご卒園おめでとうございます

～胸を張って小学校に入学してください～

本日、修了式を行い、園長先生から一人ずつ修了証書をいただきました。無事に修了式を迎えることができたことが、何よりめでたいことだと思います。心よりおめでとうございます。

異例の6月に始まった令和2年度。そして、初めて見る担任。幼稚園生活最後の1年がどうなることかと不安に思われたことと思います。子供や保護者の皆様と同じように私も不安でした。年少時・年中時の子供の育ちを知らないことや関係をゼロから作っていくことに加え、コロナ禍による様々な制限や錯綜する情報等、そして初めて勤める岐阜東幼稚園。この子たちとどうやって1年を乗り越えていこうかと考えたことを思い出します。でも、考えているよりもとりあえずめいっぱい子供と遊ぼうと思い、子供たちに、「えー！」と言われながらも、「一緒に遊ぼうって！」と必死に誘い続けたことを思い出します。遊んでいくうちに、子供たちから、「楽しい！また明日もやろう！」という声が聞かれたり、次々に子供たちの輪が広がったりするようになりました。遊びが子供たちの心を動かし、友達とのつながりを作っていたのだと思います。

たいよう組の子供たちは自慢なことばかりです。発想が豊かで何でも面白くする力をもっています。だから、毎日が楽しいのです。いろいろなものを作り出すアイデアやそれを形にする力があるからでしょう。

クラスにはいろいろな考えの子がいて、その子を受け入れながら共に生活していくことが楽しいと思ったことでしょう。いろいろな考えがあるから、発見が生まれるし、自分の考えが深まっていくのです。そして、相手のことを考え、どう折り合いをつけていくのか自分の気持ちを調整していくのです。様々な感情を抱きながらも、“やっぱり友達との生活が楽しい！”きっと、この3年間で子供たちは友達と生活する喜びを味わったことでしょう。

たいよう組の子供たちは自立しています。小学生になると、自分で登下校したり、持ち物の準備をしたり、見通しをもって生活したりするのも子供が中心になっていきます。でも、どうするといいいのか自分で考えたり、周りを見て同じようにやってみたり、分からない時には先生や友達に尋ねたりするなど、自分で考えて行動する力が育っています。子供たちの力を信じて、私たちはそっと見守り、ここぞのタイミングでぐっと後押しする姿勢で子供を応援したいものです。

“先生や友達と別れたくない！幼稚園がいい！”という気持ちから今の生活への充実感が伝わってきます。一方で、“早く小学校に行きたい！”という気持ちからは、幼稚園で思う存分遊び切ったから、次は小学校で思う存分力を発揮するぞという期待感が伝わってきます。ここから考えられることは、岐阜東幼稚園を保護者の皆様が選択されたことがとてもよかったということです。自ら主体的に考え、行動する力や自分の思いを言葉で伝える力、友達と力を合わせて遊びや生活を創り出していく力など目に見える育ちばかりではなく、相手を思いやったり、相手に合わせたりするといった心の育ちも見られました。相手のことを考えられる穏やかな心を持った子供たちは、きっと小学校に行っても、協同性を発揮し、自分たちでよい方向を見出していくと思います。それができる子供たちだと確信しています。楽しみです！

保護者の皆様のご理解とご協力のおかげでこの日を迎えることができました。感謝申し上げます。いつか成長した子供たちに会えることを楽しみにしています😊

ようちえんだいすき♡



すてきなペン立てをありがとう！

地域にお住いの長森東連合副会長さんが、卒園するたいよう組の子供たちに手作りの木製ペン立てをプレゼントしてくださいました。子供たちが好きな絵を描いたり、色を塗ったりしたので、お越しいただき、直接お礼をしました。どんな絵を描いたか見せたり、小学校でやってみたいことを一人一人が話したりしました。優しくしっかりと聞いてくださいました。なんと、「おもちゃ病院ぎふ」でボランティアをされているそうで、人のためにおもちゃを直して、喜んでもらえることにやりがいを感じておられるそうです。壊れたおもちゃなどがあつたら、直してもらえるそうです。物を大切にすることを教えてもらいました。いただいたペン立ても大切に使うてくださいね！



園長先生ありがとう♡サプライズ大成功！！

たいよう組と同じように園長先生も幼稚園を卒園します。子供と一緒に遊んだり生活したりすることが大好きな園長先生とのお別れは寂しいですが、卒園前に、「ありがとうの会」を開こうと職員で内密に計画しました。子供たちに話をすると、「絶対内緒にしておく！」と言って、ひっそりと折り紙で花束を作りました。「今、園長先生いないよね。」「渡邊先生なら言ってもいいの？」など喜ばせたいという気持ちをもってサプライズお別れ会の日を待ち遠しくしていました。その日になって、「じゃあ、今から園長先生に花を渡しに行くよ！」とお願いすると、みんながひっそりと集まりました。嬉しさやみんなと別れる寂しさから涙ぐむ園長先生を見て、みんなもしんみりと話を聞いていました。一人一人が花を渡すと、「ありがとう。」「僕を忘れないでね。」など思い思いにお礼の言葉を伝えていました。寂しいですが、園長先生とぎゅっと抱っこをしたことで気持ちが伝わったことと思います。



卒園共同製作が仕上がりました！子供たちがみんなで創り上げた劇『桃太郎』の絵を描きました。もちろん忍者も登場します。今年のたいよう組のオリジナルです。卒園式後に幼稚園のフェンスに飾ります。見に来てくださいね！